



2023-2024
No.1744
2024.5.9

会長：武井順一 幹事：関美津男
会員数：47(内2名特別会員) 会場出席：27 欠席：20
出席率：58.69% 前々回出席率：100%
点鐘：武井順一 会長 司会：石坂一男 副S A A
国歌斉唱
ロータリーソング：四つのテスト (ソングリーダー：高橋昭紀)
例会場：ホテルベラヴィータ3F 12：30～

お客様

利根沼田歴史散歩の会 高山 正 様 まさし

会長の時間

武井順一 会長



今日は、先日行ってきましたフィリピンでの台北南門RCの会長交代式の報告をさせていただきます。

交代式は4月26日に行われ、当クラブより9名の参加で行って来ました。4月25日の早朝4時45分に沼田を出発して成田へ。11時30分頃成田を発ち、フィリピンのクラーク国際空港へ約4時間50分で到着。当日は午後6時よりウェルカムパーティーがありましたが、空港での入国審査に手間取ってしまい、ホテルに着いてパーティー会場に着いたのは時間ギリギリで休憩の時間でもありませんでした。

ウェルカムパーティーはとても賑やかで和気藹々としたものでしたが、私は言葉が全く分からず、現地のレストランスタッフの言葉も分からないので、身振り手振りで何とかコミュニケーションを取りました。当日、台北南門の方はゴルフ大会を行ったという事で会場ではゴルフの表彰式も行われました。

翌日は朝から観光に行く予定でしたが、当日の気温が37～38度という事でピナツボ火山の山登りの予定はキャンセルし、クラーク市内のショッピングモールで夕方の交代式までの時間を過ごしました。

交代式はクラークマリオネットホテルで行いました。このホテルには3,000㎡はあると思われる大きなカジノが併設されていてとても賑わっていました。

交代式は午後6時より始まり、前日にも増して熱烈歓迎を受けました。会場には台北南門RCの会員・奥様方と子供さんを含めた40名の他、台湾の友好クラブの方々、韓国光州RCの方々約30名、そして私達で総勢100名位はいたと思います。宴席では、私は沼田中央のグループとは別のテーブルに座っていたので少し緊張していましたが、皆は楽しいひと時だったと思います。

記念品の贈呈式では、私が日本から持参した金の茶釜と関幹事から金銀の鶴亀の置物を贈呈し、台北南門RCよりは龍の絵が描かれた大きな額を頂きました。

祝宴が終わりホテルに戻ったのが11時頃。翌朝は午前1時のモーニングコールで帰り支度をして空港へ向かい帰国しました。

お土産を買う場所も時間もなくて本当に慌ただしい旅行とも言えない旅行でしたが、皆が無事に沼田へ帰ってこれてホッとしています。本当に強行日程の旅でしたが、台北南門RCの皆様とも友好を更に深められた有意義な旅になった事を報告致します。

次に4月29日(昭和の日)に、渋川みどりRC創立30周年記念式典がプレヴェール渋川にて総勢130名程が参加して盛大に開催されました。当クラブからは11名が参加しました。

午後3時30分より式典が始まり、4時45分から祝賀会となりました。乾杯の後のショータイムではものまねタレント「坂本冬休み」オンステージがあり、色々な歌手のものまねパフォーマンスで会場は大賑わいでした。

2026年には我がクラブも創立40周年を迎えるわけですが、参加して頂いた茂木清七副会長には大変参考になったのではないかと思います。

幹事報告

関美津男 幹事



- ①台湾東部地震の支援金は、会員皆様からの募金25,000円にクラブより5,000円を足して、30,000円を地区へ送金致しました。
- ②来週5月16日は新潟万代RCとの友好クラブ調印30周年記念事業となります。希望者による親睦ゴルフまたは観光、夜例会にて調印とその後に祝賀会をベラヴィータで開催致します。
- ③新入会員の推薦が2名上がっています。異議申し立てがある場合は1週間以内に書面にて幹事まで申し出て下さい。
- ④本日例会後に理事会を開催致します。
- ⑤地区内各クラブより例会変更の案内が届いています

出席報告

富井 潤 委員



ニコニコ BOX 報告

裕井千恵子 委員



武井 順一・関 美津男

- ①本日は利根沼田歴史散歩の会の高山正様、ようこそいらっしゃいました。卓話、宜しくお願い致します。
- ②先月26日にフィリピンで行われた台北南門RCの会長交代式に行ってきました。全員無事に帰ってくる事ができほっとしています。
- ③妻武井美鈴の誕生日にクラブより大変きれいな花を頂きました。ありがとうございました。

金井 利夫

今日の卓話をお願いする歴史家の高山正先生、宜敷くお願いします。尚、高山先生の「利根沼田歴史散歩」の本を1冊千円で例会終了後にお問い合わせしますので、沼田の歴史を知るためにお買い求め下さい。

金井 康二

- ①生方彰バスターガバナー、群馬県総合表彰おめでとうございます。これからも地域発展のためご活躍を期待致します。
- ②台北南門RC会長交代式に出席した皆様、大変にご苦労様でした。あとで楽しいお話を聞かせて下さい。

本山 佳宏

利根沼田歴史散歩の会 高山正先生のご来訪を歓迎致します。

小澤 博之・宮田 美行

我が西原新町の前区長であり、有志の会ほくみは久美の会員でもある高山正様のご来訪を熱烈歓迎するとともに、本日の卓話大変楽しみにしています。我がふるさと沼田について学びたいと思いますので宜しくお願いします。



本日の卓話



利根沼田歴史散歩の会 高山正様
卓話者紹介 金井利夫会員

『利根沼田歴史散歩』創刊号の発刊

1. 今、定期発刊の郷土雑誌をなぜ作ったか？

『利根沼田歴史散歩』は、まだできたての会誌で発行日は令和6年3月15日。これから半年に1回のペースで定期刊行していく予定。

作ろうと思ったキッカケは、昭和50年11月に創刊し平成15年5月に第36号で最終号となった『沼田万華鏡』のような利根沼田の郷土雑誌を作ってほしいという地域の多くの方からの要望があったから。もう一つは、「群馬歴史散歩の会」が機関誌として『群馬歴史散歩』を発行していたが、色々な事情から昨年1月に解散し、機関誌の発行も第273号で幕を閉じたことであった。

群馬の歴史に興味関心を持つ者にとっては、大きなショックであった。

この様な中で、利根沼田歴史散歩の会の機関誌として郷土誌の発行を行っていくことになり、さらに群馬県地域振興調整費補助事業、沼田市市民協働によるまちづくり事業という公的補助を受けられることになり、創刊号発刊が実現する運びとなった。

2. 本誌の体裁について
3. 編集の方針、投稿規程等
4. 本誌の内容について
5. 今後に向けて

ボランティア活動として第2号、3号と続けていくのは難しいものと思える。多くの定期購読者を集めることにより安定財源が確保できるが、そのためには多くの読者を惹きつける豊富なそして興味をわく内容をと、要求は膨らむばかりである。

